

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

山宮 留美子 議員

SDGsについて

議員 国連創設70周年を迎えた2015年に、193の国連加盟国が全会一致で採択した、SDGs「一人も置きざりにしない」の理念が、市の取り組みにどのように活かされているのか市長の認識を伺います。

市長 SDGsが掲げている17の目標や165のターゲットに、地方自治体レベルで推進できるものとして、住み続けられるまちづくり、産業振興、男女平等、雇用の創出、環境保全などがあると認識しています。市として既に取り組んでいるものもあるし、行政活動そのものをSDGsの推進に繋げていかなければならないと考えています。

議員 より具体的に、このSDGsの理念に基づく施策にしていくために、どのような取り組みが必要と考えますか。



▲持続可能な開発目標(SDGs)の推進を!

市長 市としては、気象災害に対する備えを進めているほか、長時間労働の是正、コンパクトシティの推進、男女共同参画の推進、障がい者雇用の推進、健康づくり、生活習慣病対策の推進、再生可能エネルギーの導入促進等々、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を意識した施策展開に努めます。

掲載以外の質問項目

◆公立中学校の制服費用について

◆ふるさと納税返礼品について

深沢 幸子 議員

引きこもり及び自立支援について

議員 不就労及び引きこもりの状況等を実態調査し積極的な支援に繋いでいただきたいが、いかがでしょうか。

福祉部長 相当数潜在と認識しています。民生委員児童委員連合協議会に引きこもりの情報提供を働きかけます。

議員 相談にいられていない方等に相談しやすい体制作りをお願いいたします。

福祉部長 広報紙、市ホームページ等で引きこもりの現状や相談先を広く知らせ、また講演会も開催します。

(仮称)龍ヶ崎市若者会議について

議員 まちづくり等、若者の政治参画を促進するため、(仮称)龍ヶ崎市若者会議を開催してはいかがでしょうか。

議員 改正生活困窮者自立支援法について伺います。

福祉部長 就労支援や家計改善支援は引きこもり支援として有効な事業であり、実施に向け体制を整備し、支援会議も検討します。

議員 軽度な引きこもりも早期予防支援が必要と思います。

福祉部長 軽度でもSOケースは相当数あるため、早期発見・支援に努め、必要に応じ手を差し伸べ積極的な支援に努めます。

市長公室長 若者のまちづくりの参画促進、政策形成過程の意見等は大変重要です。若者の意見反映の仕組みづくりに積極的に取り組めます。

久米原 孝子 議員

公共施設のサービス向上について

議員 龍ヶ崎市の公共施設、例えばたつのこアリーナは市内の人も市外の人と同じ料金ですが、市の施設なので少し分けるべきではないですかとご意見をいただきます。市民の方が利用しやすいよう、料金体系の見直しについて伺います。

健康づくり推進部長 料金体系を見直し、市内、市外在住者の料金を分けて設定することについては、施設全体の問題として捉え、市外からの利用状況や施設利用率に加え、政策的な観点、料金を区分することによる問題点など、多角的に検討してまいりたいと考えています。

議員 安心して利用していただけるような取り組みが必要になります。利用者の本人確認ができるような取り組みはなされているかお伺いします。

健康づくり推進部長 利用者の体調不良等による緊急時に備え、利用者の任意ですが、利用者情報を登録する「救急安心カード」を発行しています。前に緊急時の連絡先など、必要な情報をたつのこアリーナに登録することが可能になっています。まだカードの認知度が低く登録が少ない状況です。

議員 希望者のみでなく、例えば65歳以上の方は必ず登録していただくなど、救急安心カード登録の義務化も検討をお願いいたします。登録していただくことにより利用者の状況把握もでき、料金体系の見直しも検討できるのではないかと思えます。

掲載以外の質問項目

◆教育環境の充実について

◆立地適正化計画における居住誘導区域について

岡部賢士 議員

立地適正化計画について

議員 個人の財産価値の侵害と捉えられかねない計画ですが、計画策定に向け、市民参画の状況は？

都市整備部長 アンケート調査、まちづくりカフェ、市民懇談会を開催しました。パブリックコメント(意見公募)を実施し市民の意見を伺う予定です。

議員 実施していること自体、知らない人が殆ど。懇談会のための懇談会、会議のための会議、パブコメの

国際交流について

議員 東京五輪、ラグビーW杯、大阪万博と日本が注目を集める今こそ、龍ヶ崎初となる友好都市、姉妹都市協定締結の実現など国際交流に関する取り組みに力を注ぐことを要望しますが、ご見解を伺います。

市長 姉妹都市などの締結をする絶好のチャンスを掴んでいきたいと思えます。



▲文化交流、スポーツ、教育、経済、様々な分野で大きな可能性

◆掲載以外の質問項目
◆英語教育について

金剛寺 博 議員

自然災害の農産物への影響と農業支援を求める

議員 県・JA・市・農業者が協力して気候温暖化に伴う新しい品種導入促進を求めます。また、龍ヶ崎産米のPR促進を求めます。

産業経済部長 高温耐性に優れた品種の導入を県・JA・農業者等と情報共有に努め、農業者に情報提供を行っていきます。また、地産地消の推進に加え、特別栽培米コ

農業支援を求める

シヒカリを県外各種のイベントでPR、全日本司厨士協会と連携したPRも行っています。

議員 稲敷市で今年度から創設したような、年齢を緩和し親元就農が可能な独自の新規就農者支援制度の創設を求めます。

産業経済部長 国の新規就農者支援制度を補完する、本市独自の支援制度の検討を進めています。

高齢者の居場所づくりの充実を求める

議員 元気サロン松葉館は多くの方に利用され施設稼働率が高く、これ以上の利用増ができないことから、新たな場所への増設を求めます。

健康づくり推進部長 市の計画等との整合性を図り、どのような社会資源が活用できるか等も踏まえ検討を重ねていきます。

◆掲載以外の質問項目
◆生活保護制度改正について

札野章俊 議員

つばみ園の療育スペースについて

議員 つばみ園の療育スペースの抜本的な見直しが必要だと思います。

福祉部長 地域福祉会館の機能移転後には現在の地域福祉会館の新館や、他の施設を含めた場所への移転を検討しています。

つばみ園が新たな施設に移転された際には、療育等に必要スペースが確保されるとともに、課題となっている幾つかの問題も解消されるものと考えています。

文化会館イベント時にはシャトルバスを

議員 文化会館のイベント時にはシャトルバス、ピストンバスを運行するべきだと思います。

教育部長 コミュニティバスの利用を促進し、また、

臨時駐車場には市役所の駐車場などをご利用いただきたいと思えます。

議員 高齢者のためにも、市役所から文化会館のピストン輸送をお願いします。

日本語が話せない子どもたちへの対応

議員 教育現場において、外国で生まれ育ったなどの理由によって、日本語が話せない子どもたちへの市の対応について伺います。

教育部長 一人ひとりの状況に応じた丁寧な指導が、今まで以上に必要です。

対応する人員の不足については、コミュニケーションツールの活用や市内の民間事業所と連携した取り組みなどにより、児童・生徒の学校生活をサポートしていきます。

後藤 光秀 議員

待機児童について

― 定員増と保育士確保の早期対応を―

議員 待機児童の現状について伺います。

福祉部長 4月1日時点では、平成22年度から本年に至るまで待機児童は発生していませんが、年度途中には発生している状況です。

議員 希望する保育所に入所できないお子様は現実的に多くいます。当市の対応と考え方を伺います。

福祉部長 保育士不足の影響により十分な受け皿を確保することができない状況を受け、保育士等修学資金貸付制度を創設し、3年間で18人の学生に貸付を行いました。今後は、さらに魅

力ある制度になるよう見直しを検討し、これまで以上に保育士確保に努めます。

議員 市は待機児童数ゼロと打ち出していますよね。市長も公約で掲げていました。4月時点ではゼロでも、過去5年のデータ内訳を見てもゼロはない。例えば、小中学校の空き教室の活用も検討してはどうですか。

福祉部長 本年度中に市民アンケートを実施し、市民ニーズや少子化の社会情勢など総合的に考え、待機児童への対策をこれまで以上に強化します。

コンクリートパークについて

議員 スケボーやBMX、インラインスケートなど、エクストリームスポーツの

できるコンクリートパークをどこか公園の一角に環境整備できないでしょうか。

健康づくり推進部長 これから競技人口の増加や関心が高まることが見込まれるスポーツだと認識しており、民間施設の誘導等も考慮しながら調査・研究してまいります。

スマート農業と

小さな拠点づくりについて

議員 儲かる農業のための地域資源の活用と2次・3次産業の融合による6次産業推進について伺います。

産業経済部長 当市では、水稲経営者の米粉の加工品や落花生生産者の加工品、JA竜ヶ崎と連携してトマトジャムなどに取り組んでいます。

議員 農業公園「豊作村」の市外在住利用者の住所について伺います。

産業経済部長 葛飾区、柏、松戸、印西、川口、牛久、土浦、稲敷、取手、つくば、利根などです。

議員 市外利用者31・6%のことで、都市と農業振興地域の交流ができます。スマート農業によるまちづくり①地域産物の商品開発販売、農産物直売所の運営、②農家民宿の開業や農業体験型交流、景観、伝統文化を活かした観光とインバウンド観光

化、③農業者との農業体験交流、滞在型市民農園や二地域居住促進、④技術革新、⑤地域の未利用資源や食品残渣によるバイオマスエネルギー、⑥環境状況を見ての温泉開発と養魚場・植物工場への熱エネルギー、⑦雇用者の定住・移住への住環境整備等、スマートアグリタウンの構築です。当市発信でのグリーンツーリズムであり、ニューツーリズムの幕開けとなります。市長の見解をお聞かせください。

市長 当市は、地域おこし協力隊と共に、グリーンツーリズムにより市外からの流入対策に取り組んでいます。今の7項目にまとめられた構想が実現できれば、大きな期待が持てます。先日議員と同席した際、茨城県知事や若手農業者との話の中で話題に上がったスマート農業を含め、元気な農業づくりにつなげます。

大竹 昇 議員

龍ヶ崎市街地の活性化に向けた

取り組みについて

議員 (仮称) まちなか再生プランの策定が予定されているが、その内容とエリア設定の考え方、スケジュールを伺います。

産業経済部長 中心市街地の目指すべき方向性と、活性化の基礎となる計画であり、関連する立地適正化計画との整合性を図りながら策定します。エリアについては、立地適正化計画に定めた区域に限定せず、広い範囲で進めたいと思います。今後速やかに事業者を選定し、その後のスケジュールについては事業者と調整し決定します。

議員 地域の要望からスタートした銀行跡地の利活用の構想も、すでに一年半が経過しています。その後の進捗状況と現在の取り組み状況を伺います。

市長公室長 昨年度から土地利用方策の検討や取得に向けた検討を行って

福島 正明 議員

います。今年度は具体的な利用計画の立案に向けて、地元商店会代表者との会議や庁内での協議を行ってききました。引き続き、まちなか再生プランの策定作業とあわせて進めていきたいと思っています。

議員 これまでの経緯経過や市民と活用を約束してきたことを考えれば、再生プラン策定を待つてからではなく、早急に進めるべきだと考えるがいかがですか。

市長 再生プランへの位置づけも大切ですが、できるだけ早い時期に事業化したいと思います。土地については、まちづくり・文化財団での取得を考えています。



▲早期に銀行跡地の活用を！

杉野五郎 議員

「介護難民を出すな！」(第11弾)

―特養増設なしで大丈夫か！―

議員 当市の公的年金収入者1万9359人のうち、100万円未満の方が9394人(48%)おられ、厳しい状況にあります。費用が安い特養施設を希望した場合、入所できるので、そこで、特養の総定員数、入所者数、更に待機者数もお尋ねします。

福祉部長 平成30年11月末現在、市内5施設、総定員415人で入所者は対処をお願いします。

安心できる財政基盤を築くために！

議員 条例に基づき作成された「財政収支見通し」では、向う5年間で75億円投資、その後5年間の収支は累積赤字45億円と公表されています。その結果、基金は10億円と枯渇状況です。もしもの場合の基金は必要です。これでは綱渡りです。そこでお尋ねします。

現在、進行中の大型事業の先送り、事業規模の縮小、

または、凍結が求められるのではないのでしょうか。

市長 財政に与える影響等を勘案しながら、事業費の精査や事業実施時期の調整などにより、主要施策アクシヨンプランを実施可能なものとしていかなければならないと考えています。

掲載以外の質問項目

◆保育所への入所待機を解消するために

公文書の廃棄に第三者のチェックを！

後藤敦志 議員

議員 公文書の保有件数と廃棄件数を伺います。

総務部長 保有文書は、直近の平成28年度実績で3年保存文書が(段ボールの文書保存箱で)111箱、5年保存文書が394箱、10年保存文書が82箱、永年保存文書が35箱の合計622箱を保有しており、平成30年度の廃棄文書は、3年保存文書が102箱、5年保存文書が327箱、10年保存文書が76箱の合計505箱です。

議員 電子データは保管場所等の物理的な制約がなく、半永久的に公文書を保存できます。公文書の電子データ化についてのお考えを伺います。

総務部長 パソコンで迅速に検索できるなどのメリットもありますが、原本性の確保、システム障害や誤操作によるデータ滅失などの課題があり、紙の公文書と電子データ化した公文書の



▲公文書の廃棄に第三者のチェックを！

取り扱い方針を整備することが課題となっています。

議員 旧優生保護法の問題が報道されていますが、公文書の廃棄によって重大な問題の原因究明や、救済できなくなるなどの懸念もあります。公文書の廃棄は、行政内部だけではなく第三者機関でチェックする仕組みを整える必要があると考えますが、ご見解を伺います。

総務部長 文書の廃棄に係る第三者機関の意見聴取については、現在検討している歴史的公文書の選別基準及び公文書館機能の方針の中で合わせて協議を行っています。

大野誠一郎 議員

牛久沼「感幸地」構想について

議員 霞ヶ浦水質保全計画では「泳げる霞ヶ浦」として、現在、COD7・4を5・5・4の数値に改善することを、長期ビジョンとして掲げているが、牛久沼「感幸地」構想に掲げている「泳げる牛久沼」とは、どのようなものですか。

市長 牛久沼に関しても、湖沼B類型でCODの環境基準が5になっていますが、5には距離があると認識しています。

議員 牛久沼のCODは、現在7・6。「牛久沼水質保全計画」を策定し、過去15年取り組んだ結果0・1(0・2改善したが、COD5には程遠い。牛久沼周辺の市町村との連携は続けながら、当市が率先して予算化をし、取り組むべきだと考えます。今後の取り組みを伺います。

副市長 水質保全については、いろいろ検討しながら予算化をして、対応に取

り組んでいきたいと考えています。

議員 今年は、水質浄化対策として二枚貝の調査をしました。この結果を受けて、来年は、どのような水質浄化対策を進めるのですか。

市長 来年度、何ができるかということも含めて検討しているところです。道の駅の完成の時期もあり、のんびりもしていられないので、何ができるか、更に検討を進めたいと思います。

議員 「感幸地構想」では100年かけて、「自然環境をつくる」とあるが、どのように進めるのですか。

市長公室長 牛久沼の緑化計画と合わせながら、牛久沼「感幸地」構想のコンセプトに沿った個々の計画等も必要ではないかと認識しています。

議員 牛久沼の周辺は原野です。ヨシだけの原野を踏み潰す緑化計画はやめていただきたい。

伊藤悦子 議員

「国民健康保険税の引き下げ」を求める

議員 「国保税が高い」の
声に、基金の活用や一般会
計からの繰入で引き下げを
求めます。

健康づくり推進部長 国保
税は、来年2月予定の国保
運営協議会へ諮問し、市の
方向性を判断します。一般
会計からの繰入は今後検討
したいと考えています。支
払準備基金での保険税の減
額は想定していません。

議員 国保税は、労働者が
加入する協会けんぽの1.
3倍です。せめて、「協会け
んぽ並みに」が願いです。
医療費は県が払うので、
基金は医療費には使いま
せん。高い保険税の引き
下げに使ってください。
一般会計からの繰入も強
く要望します。

自己負担のみで介護保険の住宅改修等が実現

議員 介護保険の住宅改修
や特定福祉用具の購入は、
償還払いです。3月議会で、
利用者の負担軽減になる受
領委任払いの提案に対し、
「実施の検討を行う」との
答弁がありました。しかし、
健康づくり推進部長 受領
委任払いは、利用者が費用
を払います。

の自己負担部分を事業者
に払い、残額は市が直接
事業者に払う方式で、利
用者の経済的負担の軽減
になります。今年度中に
開始したいと考えていま
す。準備が整い次第、市
ホームページや広報紙を
通じ、市民に広く周知し
ます。

山崎孝一 議員

旧北文間小学校の跡地利用について

議員 平成29年3月に閉校
となった旧北文間小学校跡
地の有効活用について、今
年度における進捗具合と取
組状況を伺います。また、
都市計画法の市街化調整区
域に位置することから、民
間事業者による活用が難し
いことはこれまでにも説明
されていますが、最終的に
どのような提案があったの
かも伺います。

件ありましたが、いづれ
も、関係法令等をクリアし
地域の要望に沿う提案では
なかったことから、今後の
基本的な活用案として、4
期校舎・体育館・グラウン
ドを地域の皆様や市民が利
用できる施設とし、1〜3
期校舎・プールは解体して、
その跡地は駐車場として整
備してまいります。

議員 地域の皆様の意見・
要望を反映していただいた
活用案だと評価していま
す。また、市街化調整区域
に立地する建物の活用の難
しさを再認識しました。今
後、設計等の検討を行う中
で、希望としては、お金を
かけず利用者の満足度を高
められるようなアイデアを
検討していただきたいと思
います。旧北文間小学校は、
地元の皆様にとって貴重な
財産であると考えています
ので、地域の皆様に喜ばれ
る施設としていただきた
いと思えます。

市長公室長 本年度におき
まして、地域の皆様にご意
見を伺ったところ、体育館
とグラウンドは、これまで
通りに使えるようにして欲
しい等の要望がありまし
た。次に、民間事業者から
の活用提案については、最
最終的に17の事業者から提案
がありました。具体的に
は、外国人対象の日本語学
校・技能実習生の研修所が
2件。ドローン等の練習場
が2件。野菜工場・加工所
が2件。太陽光発電所が2
件。その他様々な提案が6

石引礼穂 議員

「事業をしやすい」地域づくりについて

議員 現在、国は経済を支
える屋台骨である中小企
業・小規模事業者の存続に
多額の予算を投入していま
す。地域を支えているの
は、地元の小規模事業者で
す。地域の文化的事業、例
えばお祭りや、地域の防災
活動としての消防団活動、
PTA活動など、地元の小
規模事業者がいなくなっ
てしまつたら、機能しなくな
り、地域コミュニティの崩
壊につながります。だから
こそ、地元根差した小規
模事業者を元気にしてい
なければならぬのだと思
います。当市として、事業
をしやすい環境をどのよう
につくっていくかと考えて
いますか。

議員 事業をしやすい環
境を、行政としてどうつ
くっていくのか！という
視点が大切なのだと思います。今回のアンケート
は、そういう視点からいろ
いろなものが見えてくる
と思いますので、今後活
かしてください。そして、
行政側だけで考えるので
はなく、事業者が何を求
めているのかを、しっかりと
調査しマーケティングを
行い、市内でお金が循環す
るような環境をつくる
ていくべきと考えます。

産業経済部長 市内商工業
の充実、これは定住促進や
産業の活性化、雇用の創出
など、将来にわたって活力
ある社会を維持していく上
で大変重要であり、各種政
策を推進しているところで
あります。



▲市内の企業が事業をしやすい環境をつくる！

一般質問

一般質問の記事は、各議員が書いています

椎塚 俊裕 議員

当市の働き方改革への取り組み

議員 当市の働き方改革について、部署別、月別の時間外勤務時間数の比較と、忙しい部署への他部署からの応援体制の状況について伺います。

議員 事務の縮減を図っています。議員 人事異動の時期について提案です。行政は一般的に、年度末の2月から年度初めの5月、6月くらいまでが、業務のピーク時期です。同様に、年末年始も業務が増えることはデータ上で出ています。ならば、1年の中で業務が少し落ちてく7月頃の異動がベターではないでしょうか。さらに、7月にすることで翌年度の事業も予算から携われるという点では、業務がスムーズに流れ、メリットが多いと思います。

総務部長 平成29年度の年間平均時間外勤務時間数で、最も多い部署は危機管理課で330時間です。また、月別の1人当たりの平均時間外勤務時間数は、2月の勤務課が最も多く69・5時間で、1年間の一月当たりの平均10・1時間を大きく上回っています。要因は、個人市県民税の申告及び賦課事務や年度更新時期に関連する業務等によるものです。

これらの業務分野や時期による業務量の増減に対応し、毎年2月、3月の税の申告相談事務において、所管課の職員以外にも全庁的な事務応援体制を整え、多くの職員が申告相談事務に従事することで、時間外勤



▲働きやすい環境を目指して

掲載以外の質問項目

- ◆指定管理の体系的課題
- ◆外国人在留資格見直しへの対応

第4回定例会では3つの常任委員会が開催されました。本会議における委員長報告の一部を掲載します。

総務

市町の境界変更に関する議決事件の変更についてほか、議案8件について審査しました。

牛久市（利根町）の公の施設を本市住民の使用に供させることに関する議決事件の変更について、「牛久市、利根町と、それぞれ協定に基づき施設を相互利用してありますが、利用状況等を教えてください」との質疑に対し、「牛久市の施設で、龍ヶ崎市民が最も多く利用しているのは図書館です。平成29年度は約2万7000冊の貸出を受けています。運動公園の卓球場やテニスコート等の利用も比較的多い状況です。利根町についても図書館が多く利用されています。龍ヶ崎市民への貸出割合は、全体の約10%です。多目的ホールや音楽室がある生涯学習センター、上曽根運動公園や四季の丘第2公園のテニスコートも龍ヶ崎市民が多く利用しています」との答弁があり、採決の結果、いずれも全員異議なく了承しました。

文教福祉

龍ヶ崎市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例についてほか、議案14件について審査しました。

龍ヶ崎市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について、委員から「今回の制度改正の対象者は何人いますか」との質疑に対し、執行部から「10月末現在、精神障害者保健福祉手帳1級の交付者は37名で、このうち20名は既にマル福の受給要件を満たしていましたので、残りの17名が今回の拡充の対象者になります」との答弁があり、さらに、委員から「対象者は限られているので、障害者団体や家族会にも周知し、漏れないように対応していただきたい」との質疑に対し、執行部から「広報紙や市ホームページでの周知はもとより、手帳1級交付者へ直接お知らせする等、より丁寧な周知方法を検討してまいります」との答弁があり、採決の結果、全員異議なく了承しました。

環境生活

龍ヶ崎市空家等の適正な管理に関する条例についてほか、議案18件、報告1件、陳情1件について審査しました。

龍ヶ崎市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、「佐貫駅の利用者の減少に伴って、駐輪場の利用者も減少しているとのことですが、駐輪場の利用料を安くすれば、利用が増えることも考えられると思います。条例の改正をするにあたって、使用料の値下げは検討されたのでしょうか」との質疑に対し、「利用者が減っている中で、使用料については常に課題として検討しています。ただ、民間の駐輪場も、現実的に若干空きがある状況ですので、使用料については現状維持ということにしています」との答弁があり、採決の結果、全員異議なく了承しました。